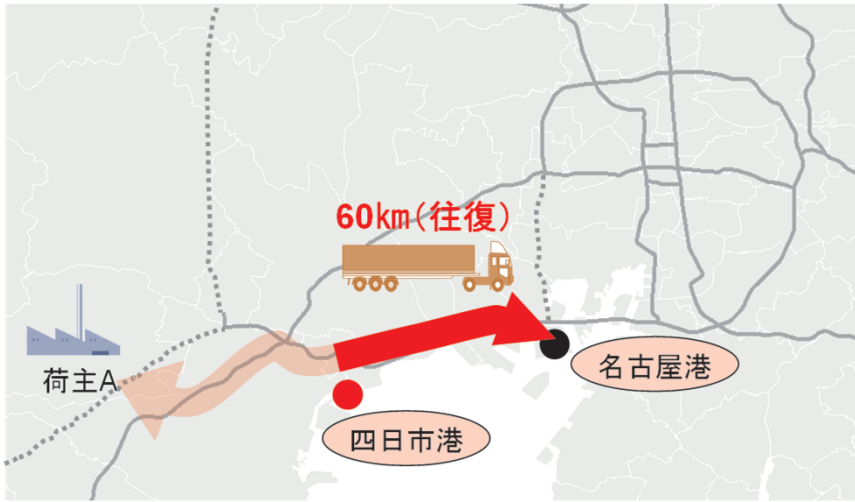


便益の考え方 (①輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (コンテナ貨物))

①輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (コンテナ貨物)
 近傍の四日市港が利用できることにより、輸送距離が短縮され、コンテナ貨物の陸上輸送コストが削減される。

Without (整備なし) 時 :
 名古屋港の岸壁を利用

(三重県四日市市の場合の例)



(三重県四日市市から40ftコンテナを輸出する場合の例)
 85,080TEUのコンテナ貨物のうち当該経路の貨物を21,100台/年のトラックで往復60km輸送。これに陸上輸送費用原単位72千円/個を乗じる。
 ※この他、9通りのケースがある。また、陸上輸送費用の他、輸送時間コストを計上している。

With (整備あり) 時 :
 四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深14m) を利用

(三重県四日市市の場合の例)



(三重県四日市市から40ftコンテナを輸出する場合の例)
 85,080TEUのコンテナ貨物のうち当該経路の貨物を21,100台/年のトラックで往復20km輸送。これに陸上輸送費用原単位39千円/個を乗じる。
 ※この他、9通りのケースがある。また、陸上輸送費用の他、輸送時間コストを計上している。

輸送コスト**42.1**億円/年
単年度便益**13.2**億円/年
輸送コスト**28.9**億円/年

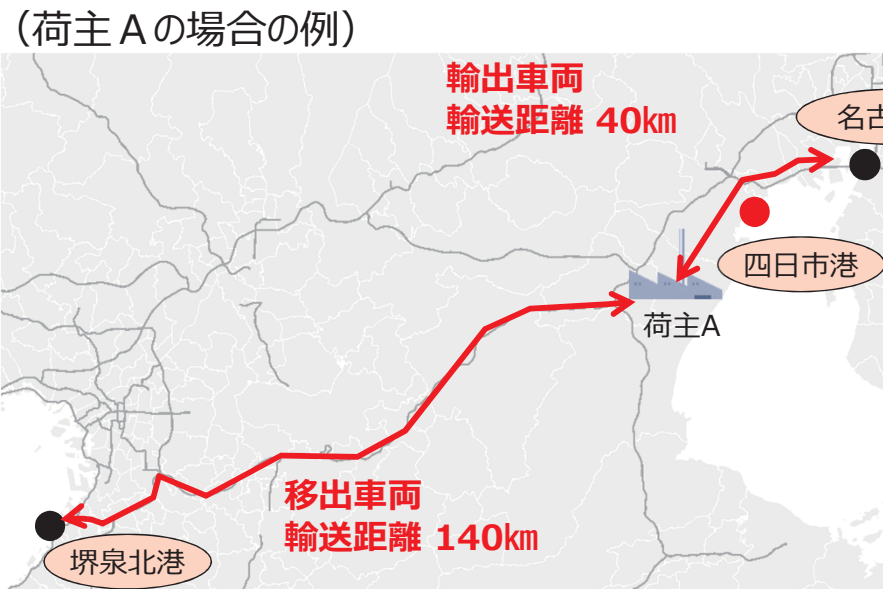
内容	単年度便益	Without時	With時
①輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (コンテナ貨物)	13.2億円/年	名古屋港の岸壁を利用	四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深14m) を利用

※合計値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

便益の考え方 (②輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (完成自動車))

②輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (完成自動車)
 近傍の四日市港が利用できることにより、輸送距離が短縮され、完成自動車 (輸出、移出) の陸上輸送コストが削減される。

Without (整備なし) 時 :
 名古屋港、堺泉北港の岸壁を利用



(荷主 A が輸出する場合の例)
 完成自動車の年間輸送台数3.4万台のうち当該経路の貨物をトレーラーで1日あたり3回輸送。これにトレーラー使用料25万円/日に乗じる。
 ※この他、輸出で1通り、移出で1通りのケースがある。

With (整備あり) 時 :
 四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深12m) を利用



(荷主 A が輸出する場合の例)
 完成自動車の年間輸送台数3.4万台のうち当該経路の貨物をトレーラーで1日あたり5回輸送。これにトレーラー使用料25万円/日に乗じる。
 ※この他、輸出で1通り、移出で1通りのケースがある。

輸送コスト **21.3** 億円 / 年

単年度便益 **14.8** 億円 / 年

輸送コスト **6.5** 億円 / 年

内容	単年度便益	Without時	With時
②輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果 (完成自動車)	14.8億円/年	輸出：名古屋港の岸壁を利用 移出：堺泉北港の岸壁を利用	四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深12m) を利用

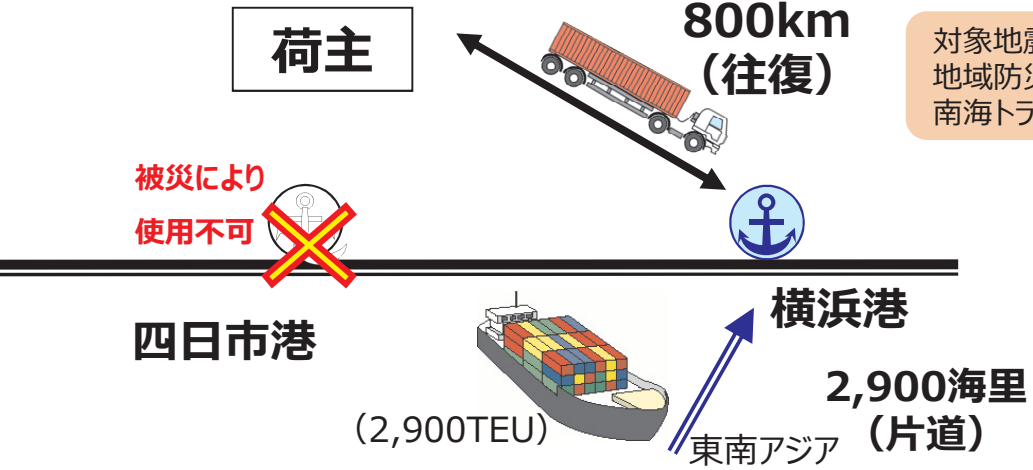
便益の考え方 (③被災時における輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果)

③被災時における輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果

被災時において耐震強化岸壁が利用できることにより、近傍の四日市港からの海上輸送が可能となり、輸送距離が短縮され、コンテナ貨物の輸送コストの増大が回避される。

Without (整備なし) 時：
横浜港の岸壁を利用

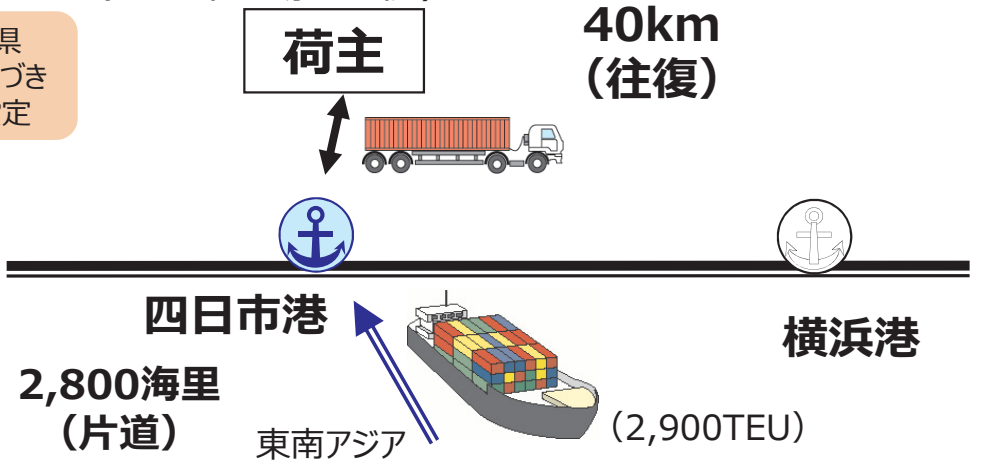
(三重県の場合の例)



対象地震は、三重県
地域防災計画に基づき
南海トラフ地震を設定

With (整備あり) 時：
四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深14m) を利用

(三重県の場合の例)



(三重県から40ftコンテナを輸出する場合の例)
245,034TEUのコンテナ貨物のうち当該経路の貨物を40,357台/年のトラックで往復800km輸送。これに陸上輸送費用原単位345千円/個を乗じる。
※この他、11通りの輸送経路がある。また、陸上輸送費用の他、海上輸送費用、輸送時間コストを計上している。

(三重県から40ftコンテナを輸出する場合の例)
245,034TEUのコンテナ貨物のうち当該経路の貨物を40,357台/年のトラックで往復40km輸送。これに陸上輸送費用原単位56千円/個を乗じる。
※この他、11通りの輸送経路がある。また、陸上輸送費用の他、海上輸送費用、輸送時間コストを計上している。

輸送コスト **1,091.5** 億円/年

単年度便益
414.4 億円/年※

輸送コスト **663.8** 億円/年

内容	単年度便益	Without時	With時
③被災時における輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果	22.0億円/年 [414.4億円/年※]	横浜港の岸壁を利用	四日市港霞ヶ浦地区岸壁 (水深14m) を利用

※ [] は地震発生確率考慮前。また、通常時の便益を控除している。